さんけん新聞

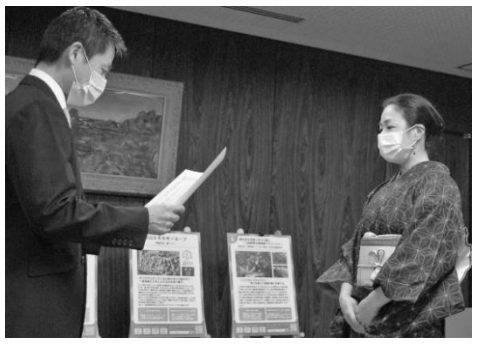
発　行
NPO法人
三段峡―太田川
流域研究会
（代表・本宮炎）

〒731－3813
広島県山県郡
安芸太田町
柴木1734
090-3421-3046
◇
https://sanken-hiroshima.org/

三段峡野外博物館プロジェクト
「さとやま未来大賞」に輝く

「ひろしま里山グッドアワード」

地域の新しい価値の創造に取り組む活動を表彰する「ひろしま里山グッドアワード」の表彰式が３月２７日、県庁で開かれ、さんけんの「三段峡野外博物館プロジェクト」がさとやま未来大賞を受賞した。審査員３人が協議し、一般投票の結果を参考にしながら選考された。湯崎英彦知事は「資源と人が合わさると真の活性化になる」とエールを贈った。


賞状を読む湯崎知事、右は本宮宏美事務局長

グッドアワード選考には応募した十九団体の中から一次審査を通過した五団体が大賞候補としてエントリーし、ネットでの投票で競った。投票総数は一五八六票で三段峡は五五七票を獲得、序盤から終始リードし、授賞の原動力になった。特典としてさんけんの理念、活動を紹介するプロモーションビデオが作製される。

湯崎知事は「地域の資源にしっかり目を向け、活用する人が合わされば価値が生まれ、本当の意味での地域活性化になる。素晴らしい取り組みだ」と述べ、審査員の日本総合研究所主席研究員・藻谷浩介氏は「三段峡がかつての繁栄を失ったのは、住民にその良さが分からなくなったからだ。宮島と並んで価値を世界が発見するまで頑張ってほしい」と、激励した。

グッドガバナンス認証　取得

さんけんは三月二十四日、非営利組織を評価認証する一般財団法人・非営利組織評価センターから、信頼できる組織だと認められた「グッドガバナンス認証」を取得した。全国で十九団体目、広島県内では初。

ひろしまＮＰＯセンターの薦めで昨年九月に書類を提出、十一月には訪問評価で同センターの事務局評価委員三人が来所した。

ヒアリングは受益者視点のニーズの把握、課題の共有、改善・創意工夫、リスク管理、財務・会計など広範囲にわたり、議事録が規定通り記載されているかなどの書類確認もあった。認証の取得は行政などと協働する際、信頼度が高くなる。

魚の種を説明する本宮芳太郎君㊨
（広島ホームテレビのＨＰから）

「自然塾」の試行イベント実施

さんけんが新事業と位置付けている「自然塾」の試行イベントを三月二十二日、広島市内と町内の小学生低学年五人が参加して筒賀三谷川で開いた。さんけん研究員の本宮芳太郎君が講師を務め、川釣りのテクニックを伝授、魚の生態などを解説した。仲間や先輩が後輩へ教える子供の学び合いを目指している。「教えるのは難しい」と芳太郎君。イベントの様子は二十五日、広島ホームテレビ「みみよりライブ５ｕｐ」の番組内で紹介された。

豊富なコケ類確認

広島大学の坪田博美、山口郁哉の両准教授とさんけんメンバー四人が三月二十六日、正面口から栂崎間で蘚苔類（コケ）を調査した。

昨年十二月に調査した坪田准教授は、「三段峡は種類が多く、研究にはいいがツアーに組み入れるのは難しい」と指摘し、狭い範囲を綿密に調べ、観察場所を決めて解説しよう、と提案した。

広い栂崎を候補地にして調べると倒木などから十四種が見つかった。「百種以上はある」と坪田准教授。蘚苔類の豊かさが三段峡の魅力になると実感した。

休眠預金助成制度　再挑戦

「三段峡正面口の店舗活用」で応募した休眠口座預金活用助成制度は、構想の大きさや社会課題の捉え方で評価されたが、事業の実現性の不安などで不採用になった。構想を練り直して来年度以降、再チャレンジする。

一口メモ

▼違和感の春

春が駆け足でやって来た。雪が極端に少なく、倒木や落石で探勝路が塞がれず、半月以上も早く咲きだした春の妖精とも言われるイチリンソウやシュンランを観察できた。嬉しい半面、違和感がある。この冬ほど気候変動、温暖化を実感した年はない。植物たちの発信を見守りたい。

南峰と歩く ㉜　地獄谷（じごくだに）
柴堰右岸高所の谷か　場所不確定

戦後はほとんど記述がなくなったが、熊南峰時代には「地獄谷」の記載がある。「地獄谷から耶源にわたる十数町の間に、鱗のごとく羅列突兀（とっこつ）する幾十をかぞえる奇岩怪石」と南峰は記す。確かではないが柴堰の右岸高所の谷だろう。探勝路からは幾つかの岩壁が望めるに過ぎない。

■古い地形図に山道

ようやく三段峡が世に出始めた一九二二年八月、南峰を案内人として地元の筒賀歌文会が入峡した。帰りは川伝いに下ったが、行きは正面口から右岸の山道を辿り葭ケ原に出た。探勝路は建設されておらず、山道は開発期以前のものである。

幸い、古い地形図にこの道が載っている。柴堰あたりでは標高七〇〇㍍ぐらいを等高線に沿うように点線が記されている。川床からは約二五〇㍍の高さである。斜面の頂上は「サバの頭」と呼ばれ、標高は一〇〇〇㍍を超える。

■岩根の道はつるぎ

歌文会の一人は「ふみさくむ岩根の道はつるぎにてあな血なまぐさや地獄谷風（朽庵）」と詠んでいる。名に違わぬ光景だった。

二〇一七年十一月、さんけんメンバー三人と内黒峠から「サバの頭」へ登り、唯一歩けそうな稜線を下りながら、交差しているはずの古い道を探した。時にかき消され、痕跡さえ見つけられなかった。（松尾　俊孝）

この人
三段峡憲章策定に関与
岡本　泰志さん

東日本大震災を機に、復興支援に関わるＮＰＯ法人へ転職。2015年に広島へ戻り、地域コンサルティング会社を経て独立し、ＮＰＯ支援や地域づくりに携わる。

コンサル時代に三段峡憲章策定に関わった。ひろしま里山グッドアワードへの応募を提案、エントリー文章を作成した。さんけんを「よく学び、自分たちの気持ちにまっすぐな組織」と評価する。三段峡は従来の観光地にはない、何度訪れても大切なものを気付かせてくれる、懐の深い場所になってほしい、と思う。「やっぱりここがいいわ」と言われるように。（炎）